

淀川水系流域委員会

様

伊賀・水と緑の会
畑 中 昭 子

川上ダム事業 検討をお願いします

暑中お見舞い申し上げます。

42.43回流域委員会を傍聴させていただき、委員の皆様が問題点を指摘され今後の審議に希望を託しております。

川上ダムの調査・検討の中心は

治水：----- 上野西北部（伊賀市長田・小田・服部）

利水：----- 伊賀用水（三重県企業庁・水道事業）；

自然環境：-----（オオタカ・オオサンショウウオ、その他）

費用対効果：---（建設費負担と総事業費）

以上、重点検討されていることに大変感謝しています。

川上ダム建設は中止することが道理だと思いますが、近畿地方整備局は事業継続するというのなら、地質についてもしっかり報告していただきますようお願い致します。

淀川水系流域委員会 様

2005 年 7 月 29 日

伊賀・水と緑の会

畑中 昭子

第 42、43 回淀川水系流域委員会を傍聴させていただき、近畿地方整備局の川上ダム事業継続方針説明に対し木津川上流部会の川上聡部会長が全般にわたって質問され、川上ダム事業継続の問題点を様々な角度からご検討くださり非常に勇気づけられました。川上ダム建設地地元住民として引き続き淀川水系流域委員会の今後のご活躍に期待しております。

4 点につきましてご検討よろしくお願い致します。

1. 川上ダム建設予定地の地質・活断層・断層について

- 2004・11/27 付で浅野隆彦さんが「川上ダム」建設の危険性について貴委員会に意見書を提出、地質についての詳細な資料は木津川上流住民対話集会(2004・3/20～9/4)に提出されています。資料は水資源機構川上ダム建設所から調査資料の提供を受け、又、開示されない資料については情報公開で資料提出を求めた上で何ヶ月にもわたる調査検討によるものです。川上ダム予定地の地質・断層の上にダム建設することについて再検討をお願いします。(資料 1)
- 三重県防災危機管理局から「わが家の防災情報シート」が 7 月伊賀市広報などと共に配布されました。三重県の主要な活断層の概略位置・東海・東南海・南海地震同時発生時に予想される震度と津波の高さが示されています。川上ダム建設予定地上下に推定活断層・活断層が示されています。専門的な資料(東大……)検討をお願いします。(資料 2)

2. 川上ダム建設計画位置と桐ヶ丘団地住民の不安

- 現在、桐ヶ丘団地には 1,765 戸、5,608 人が入居されています。その人口比は旧青山町人口 12,000 人余の半数近くになります。桐ヶ丘団地の直近では 300 メートルのところにダム湖となり、団地の低いところはダム満水時には水面より 1 メートル低くなります。水資源機構川上ダム建設所が行なう桐ヶ丘団地での住民説明会では地質不安定なところになぜダム建設なのかという声が多く出されていますが、事業継続の方針が出れば調査していくという無責任な回答です。
- 周辺整備事業など付け替え県道工事などでもしばしば土砂崩れで工事の中断、期間延長される事態があり、山を切ると山崩れ、地すべりが起こります。現地調査をお願いします。
- 奈良県川上村に建設の大滝ダム、白屋地区はダム試験湛水により地滑り発生、全戸集団移転という事態となりました。その大滝ダムは運用が開始されず未だ原因の解明もなされておりません。川上ダム建設予定地、ダムサイト、ダム湖周辺の地質調査が必要です。

3. 付け替え県道工事発破作業によるオオタカへの影響調査

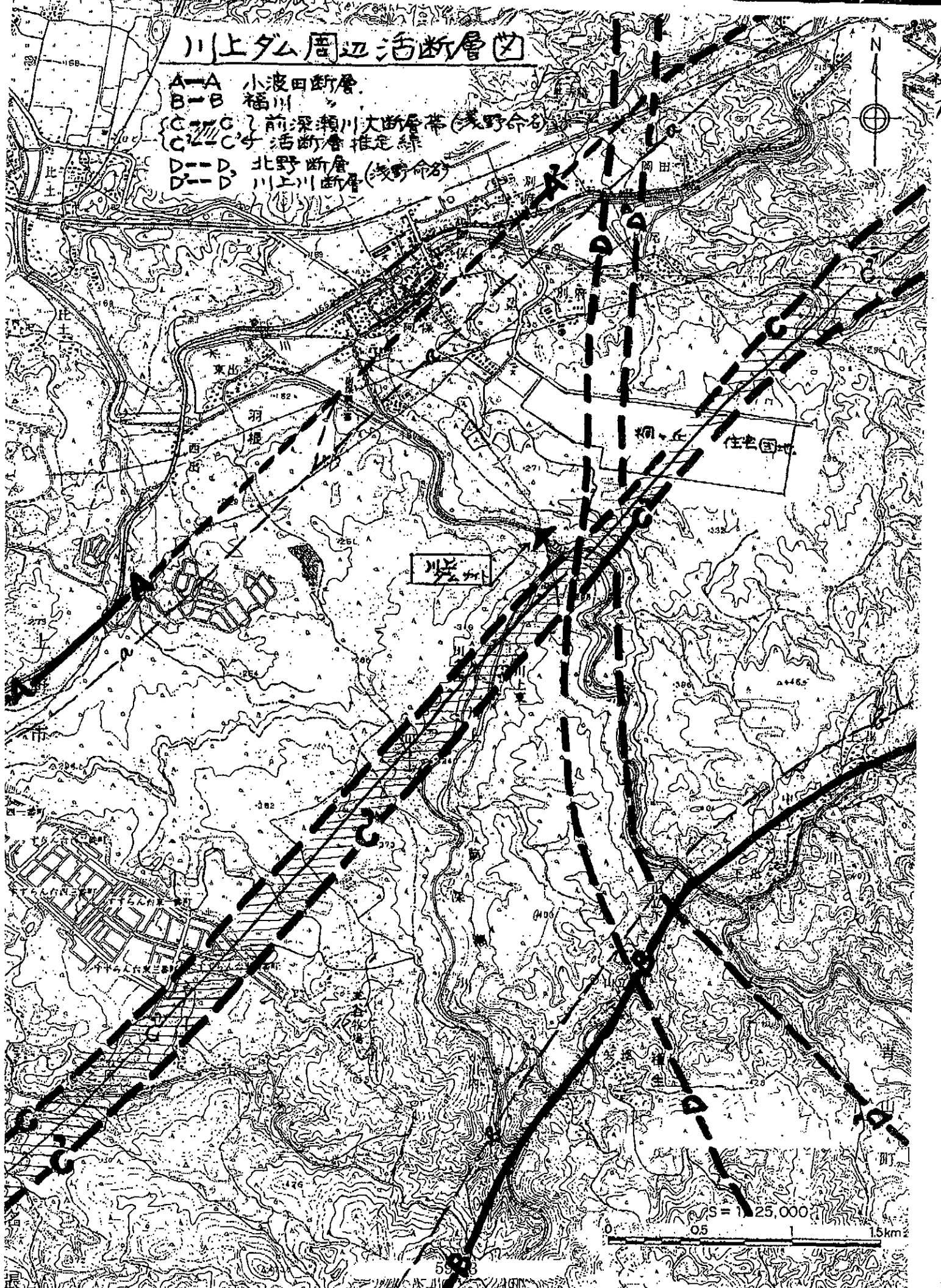
- 7 月～10 月にかけて付け替え県道松青線 4 号橋脚工事による発破作業を行なうと水資源機構川上ダム建設所から地域住民へ回覧されましたがその場所はオオタカへの影響が心配されます。
(資料 3.4)

4. 治水代替案の一つとしてハザードマップ作り

- 木津川上流工事事務所によるハザードマップ作りは浸水被害など心配されている流域住民や行政と共に経験や知恵を出し合い一緒に作る事を提案します。

川上ダム周辺活断層図

- A—A 小波田断層
- B—B 福川
- {C—C} 前深瀬川大断層帯 (浅野命名)
- {C—C} 活断層推定線
- D—D 北野断層 (浅野命名)
- D—D 川上川断層 (浅野命名)



わが家の防災情報シート

- 三重県内の主要な活断層の概略位置
- 東海・東南海・南海地震同時発生時に
予想される震度と津波高さ

想定津波高さなどの詳しい数値については、

「防災みえ.jp」(ホームページアドレス <http://www.bosaimie.jp>) をご覧ください。

出典

地図：国土院発行 数値地図 200000 (地図画像) 複製 (承認番号 平 17 総裁 第 62 号)

震度：三重県地域防災計画被害想定調査報告書 (2005 年 3 月 三重県)

津波：東海・東南海・南海地震対策に係る津波シミュレーション調査報告書 (2004 年 3 月 三重県)

参考

活断層：地震調査研究推進本部地震調査委員会による活断層の長期評価結果及び

「新編日本の活断層一分布図と資料一」(1991 年 3 月 活断層研究会編) をもとに編図

凡 例

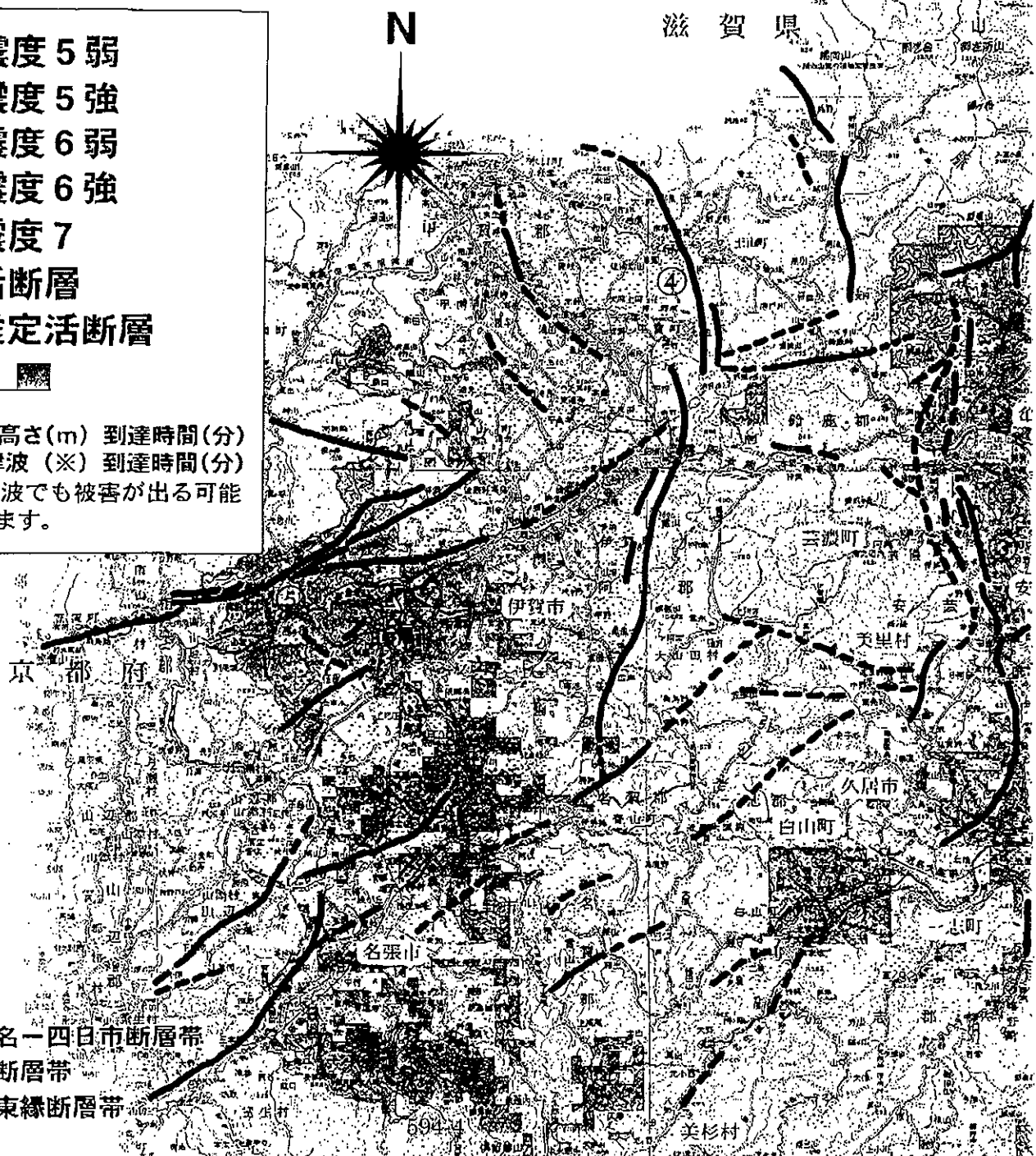
- 震度 5 弱
- 震度 5 強
- 震度 6 弱
- 震度 6 強
- 震度 7
- 活断層
- 推定活断層

地点名

最高津波高さ(m) 到達時間(分)

0.5mの津波 (※) 到達時間(分)

※0.5mの津波でも被害が出る可能性があります。



主要活断層

- ① 養老-桑名-四日市断層帯
- ② 鈴鹿東縁断層帯
- ③ 布引山地東縁断層帯
- ④ 頓宮断層

回 覧

平成17年 7月 8日

住民の皆様へ

お 知 ら せ

独立行政法人 水資源機構
川上ダム建設所

川上ダム建設事業につきましては平素より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今般、下記工事の施工にあたり、平成17年7月下旬から10月下旬の間、県道松青線沿いの山中で、必要に応じて発破作業を行います。

発破時には事前警報音と発破音がしますが、現道は発破作業の影響範囲外であり、通行に支障はございません。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

〈工事の概要〉

工事名 付替県道松青線4号橋橋脚工事
工 期 平成17年3月18日 ～ 平成18年3月2日
ケイコン株式会社（現場代理人 三好 義延）
電話 （0595）23-5340（代）

工事名 付替県道松青線第3工区（その5）工事
工 期 平成17年3月25日 ～ 平成18年2月17日
坂口・水谷経常建設共同企業体
（現場代理人 北村 尚弘）
電話 （0595）53-1022（代）

お問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所
工事課 西中間、望月、松岡、山田
電話（0595）52-1661

凡 例	
	発破箇所
	発破作業壁設置板
	現 道

(付替県道松青線第3工区(その5)工事)
(付替県道松青線4号橋橋脚工事)

施工位置

